

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター  
事業部門 医薬文献情報担当  
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

# JAPIC Pharma Report

## 海外医薬情報 **速報**

No. 1239 2020年7月2日発行

安全性情報

### チェックポイント阻害剤（Pembrolizumab）誘発の肺臓炎に対する血管作動性腸管ペプチド：1 症例（高齢者）の報告

Vasoactive Intestinal Peptide in Checkpoint Inhibitor-Induced Pneumonitis

Bjorn C. Frye (University Medical Center Freiburg, Freiburg/Germany), ほか  
N. Engl. J. Med. 382 (26) 2573-2574 / (2020. 6. 25)

### Hydrochlorothiazide への曝露と様々な発生率の皮膚，口唇，口腔の癌との関連：集団ベースのネステッドケースコントロール研究

Association between hydrochlorothiazide exposure and different incident skin, lip and oral cavity cancers: A series of population-based nested case-control studies

Daniel R. Morales (University of Dundee/UK), ほか  
Br. J. Clin. Pharmacol. 86 (7) 1336-1345 / (2020. 7)

### Metamizole—過小評価されている特異体質性の重度薬剤性肝障害の原因薬剤：レトロスペクティブ分析

Metamizole: An underrated agent causing severe idiosyncratic drug-induced liver injury

Marcial Sebode (University Medical Centre Hamburg-Eppendorf, Hamburg/Germany), ほか  
Br. J. Clin. Pharmacol. 86 (7) 1406-1415 / (2020. 7)

## Health Product InfoWatch (June 2020/9pp)

### New Health Product Safety Information

#### Vaccine Safety Biannual Summary :

・2019年7月1日～12月31日の報告：本期間中に新たな安全性シグナル（潜在的な安全性の問題）は特定されなかった。Canada Vigilance Program は、2019年7月1日～12月31日に、ワクチン（Shingrix など）が原因として疑われる予防接種後の有害事象報告（ワクチン接種の不成功、帯状疱疹など）を597件受領したことなどについて記載。

#### Product Monograph Updates :

・ **Norvasc (amlodipine)** : Norvasc のカナダ製品モノグラフの禁忌、警告および使用上の注意、消費者向け情報のセクションが、以下について改訂されている。Norvasc は現在、左心室出路が閉塞している（大動脈高度狭窄など）患者、急性心筋梗塞後の血行動態が不安定な心不全患者において禁忌である。重度の心不全（NYHA class III および IV）患者における amlodipine の長期プラセボ対照試験で、報告された肺水腫の発現率は、プラセボ群よりも amlodipine 治療群の方が高かったことなどについて記載。

・ **血管内皮増殖因子チロシンキナーゼ阻害薬（VEGFR TKIs）** : **Cabometyx(cabozantinib)**, **Caprelsa(vandetanib)**, **Iclusig(ponatinib)**, **Inlyta(axitinib)**, **Lenvima (lenvatinib)**, **Nexavar(sorafenib)**, **Ofev(nintedanib)**, **Stivarga(regorafenib)**, **Sutent(sunitinib)**, **Votrient(pazopanib)** : VEGFR TKIs のクラスのカナダ製品モノグラフの警告および使用上の注意、市販後の医薬品副作用、消費者向け情報のセクションに、動脈解離および動脈瘤のリスクが含まれた。VEGFR TKIs を使用した患者において、高血圧の有無にかかわらず重篤な動脈解離症例が複数報告されていること、VEGFR TKIs と関連して動脈瘤（破裂を含む）が報告されていることなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館／文献複写サービスよりお申込みください。  
(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)